

調査目的

訪日外国人旅行者の旅行動態及び潜在的なニーズを把握するため、ICTを活用した動態調査を実施し、新たな広域観光周遊ルートへの検討や、観光資源を世界レベルへ磨いて活かす地域づくり等への検討を行い、2020年訪日外国人旅行者数2000万人を図る。

携帯端末のGPS機能を活用した流動分析

- ・携帯端末のGPS機能を活用し、訪日外国人の移動経路等を収集・分析する。

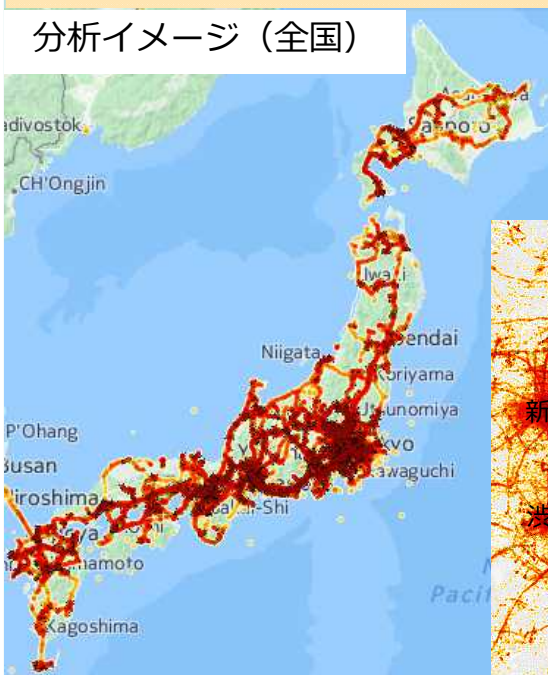
【対象】訪日外国人全て、目標1万人/月
(指定アプリをDLいただいた人)

【主な分析】移動経路の分布

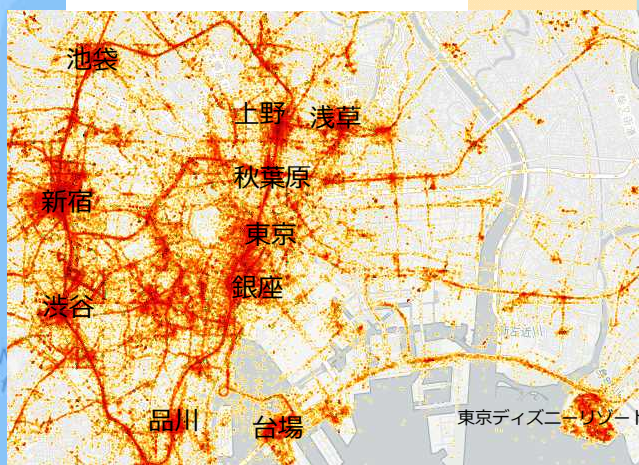
(例) マクロ：ゴールデンルートと他地域の分布
→ 地域ごとの傾向と分析に活用
ミクロ：都市内の流動(宿泊、昼食場所等)



分析イメージ(全国)



分析イメージ(都内)



携帯電話の基地局情報を活用した地域特性分析

- ・国籍別の訪日外国人の滞在分布等を収集・分析する。

【対象】訪日外国人、目標100万人/年

【主な分析】基地局単位の滞在分布



Twitter等を活用した訪日外国人意識分析

- ・外国人のツイートから、日本における興味・関心・要望等を抽出し、外国人の趣味嗜好や観光地の評判等を収集・分析する。

【対象】訪日外国人全て、目標1万人/月
(インターネットで書き込みをしている人)

【主な分析】日本に関するツイートを基に見るもの、買い物、食べ物を分析
→地域毎の観光地域づくりに資するデータとして活用

